

## (2) 冬型感染症のシーズン別報告状況

平成29年シーズン（平成29年6月下旬～平成30年6月下旬）の特徴。インフルエンザは、昨年より約1ヶ月早い12月上旬から患者報告数が増加し、1月中旬から2月上旬に流行のピークとなった。ウイルス検査の結果から、A型については、A2009型が1月上旬に、AH3型が1月下旬から2月にかけて多く検出された。B型については、通常のシーズンとは異なり、12月末からB山形系統が検出され始め、1月下旬から2月上旬にピークとなった。

感染性胃腸炎は、12月から3月にかけて少ない報告数であったが、4月以降は例年に比べ多い報告数であった。

水痘は、昨年より減少した。平成26年10月に水痘の予防接種が定期接種化となった以降、予防接種率が上昇したことにより、減少した傾向が継続しているものと思われる。

インフルエンザ(単位:人)					感染性胃腸炎(単位:人)					水痘(単位:人)				
	東部	中部	西部	県計		東部	中部	西部	県計		東部	中部	西部	県計
平成24年6月下旬 ～平成25年6月下	2,143	2,024	2,774	6,941	平成24年6月下旬 ～平成25年6月下	2,776	2,107	2,146	7,029	平成24年6月下旬 ～平成25年6月下	427	353	347	1,127
平成25年6月下旬 ～平成26年6月下	2,509	1,631	2,471	6,611	平成25年6月下旬 ～平成26年6月下	2,817	1,640	1,388	5,845	平成25年6月下旬 ～平成26年6月下	346	246	236	828
平成26年6月下旬 ～平成27年6月下	2,992	2,560	2,956	8,508	平成26年6月下旬 ～平成27年6月下	2,478	1,808	1,153	5,439	平成26年6月下旬 ～平成27年6月下	212	101	224	537
平成27年6月下旬 ～平成28年6月下	3,472	1,635	2,743	7,850	平成27年6月下旬 ～平成28年6月下	3,253	1,652	1,672	6,577	平成27年6月下旬 ～平成28年6月下	77	70	79	226
平成28年6月下旬 ～平成29年6月下	2,376	1,735	2,165	6,276	平成28年6月下旬 ～平成29年6月下	2,892	1,678	1,750	6,320	平成28年6月下旬 ～平成29年6月下	169	200	140	509
平成29年6月下旬 ～平成30年6月下	4,085	3,500	4,508	12,093	平成29年6月下旬 ～平成30年6月下	2,725	1,677	1,771	6,173	平成29年6月下旬 ～平成30年6月下	70	82	69	221
平成24年6月下旬 ～平成30年6月下 の6年平均	2,930	2,181	2,936	8,047	平成24年6月下旬 ～平成30年6月下 の6年平均	2,824	1,760	1,647	6,231	平成24年6月下旬 ～平成30年6月下 の6年平均	217	175	183	575

